

# 新年のごあいさつ



## 開かれた議会 信頼される議会に

平泉町議会議長 青木 幸保

町民皆さま方には健やかに希望の新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は「復旧・復興元年」の年でありました。沿岸被災地における懸命な復旧・復興に取り組まれている姿をテレビなどで拝見し、少しずつながら動き出していると感じられるようになりました。国では復興基本法が成立され、岩手においても「岩手県東日本大震災津波復興計画」を策定し「安全の確保」「暮らしの再建」「なりわいの再生」を柱に取り組みされており、本格的復興を期待しているところです。犠牲となられた方々の故郷への思いをしっかりと受け止め、1日も早く再び幸せな生活が送れるよう取り組んで欲しいものです。

一方、平泉は世界遺産登録2年目の年であり、登録元年の新たなスタートの年でありました。これは、登録自体が町にとって歴史的に大変重要な意味を持つと同時に、登録に向けた町民運動の取り組みそのものが大切なのであります。先人の偉業をたたえ、守り育ててきた平泉の文化をさらに後世に伝えるべく、その主役となるのは町民皆さまです。そのページの一つが東京深川で行われた富岡八幡宮神輿連合渡御でありました。天皇皇后両陛下をお迎えしての天覧渡御は、長い歴史の中で初めてのことだそうです。沿道からは「東北ガンバレ・平泉ガンバレ」の声が掛けられ、平泉の神輿が新たな町づ



## 共に歩み 活力ある平泉を目指して

平泉町長 菅原 正義

新しい年に当たり、町民の皆さまには、新たな希望と決意を胸に新春をお迎えしたこととお慶び申し上げます。日ごろは、町政に対しまして温かいご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

甚大な被害を各地にもたらしました東日本大震災による傷は、まだまだ癒えておらず、被害にあわれた皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を願うものであります。

また東京電力福島第一原子力発電所の事故は、私たちの生活環境に影響を及ぼす大きな出来事でありました。これからも町民の暮らしと健康を守るため、しっかりと取り組んでまいります。

一方、国政に目を転じますと、昨年12月の衆議院議員選挙によって政権交代が行われ、政治的にはいまだ不透明な情勢にあり、政権の安定こそが求められるところです。しかしながら遅々として進まなかった復興に向けては、大きな追い風になるのではと期待をしています。

本町にあつては、新平泉町総合計画の前期基本計画の3年目を迎え、「やすらぎと文化をおりなす千年のまちづくり」の実現に向け、計画を本格的に実施していく段階となりました。世界遺産登録によって、現在も多くの皆さまに訪れていただいておりますが、今後におきましても世界

文化遺産にふさわしい環境、文化を兼ね備え、住む人にも訪れる人にも良さが感じられるまちづくりを目指して行かなければなりません。県道である通称中尊寺通りの整備は、地域住民と合意形成を経て今年から工事が本格化し、農家や商工業者を元気にする目的の道の駅も計画を見直し大きく動き出します。また多くのご意見をいただいている体育館建設も建設位置などが決まる予定です。さらには黄金沢工業団地の整備について、関係機関との連携をもとに速やかな着手を目指します。

世界遺産登録から一年半ほど経過いたしました。登録直後に比べて観光客が激減する先進地が多い中、本町においては高止まりを維持しております。これはひとえに「おもてなしの心」を持ってお客さまに対応していただいた町民皆さまの大きな成果です。また本町が活気づくことは、復興支援の一端を担っているとも思います。本町にありがとうございました。

このように皆さまが一つになつて取り組む限り、明日への扉は開かれるものと確信しております。今こそ英知を結集し、子々孫々に誇りが持てる、また活力ある平泉を目指して、共に歩んでまいりましょう。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

くりのスタートのシンボルに輝いた時でした。こうした原動力こそがけん引役となり分権型社会の新たなまちづくりの「自己責任」「自己決定」の足がかりとなることに期待したいものです。

議会と致しましては行政のチェック機能のみならず、さらなる提案型の議会を進め、さらに「開かれた議会、信頼される議会」を目指し、積極的に議会改革に取り組んでまいります。懇談会において特に注目されるのは大型事業の推進もさることながら、世界遺産登録後の環境整備や身近な生活関連道路の整備でした。課題解決に向け、住民のための議会運営を心がけ最善の努力をしてまいります。

大震災は私たちに「絆」「思いやり」の大切さを改めて気づかせてくれました。そのことが私たち日本人の財産だと思います。長引く経済不況の下TTP参加、原発、消費税、外交の問題など乗り越えなくてはならない課題は多く、険しい道のりが予想されますが「絆」を大切に、また「己年」にあやかつて力強く、そして一歩一歩再生の道を踏み出していくことです。

本年も一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新春に当たり、町民の皆さま方のご多幸と平泉の発展、そして被災地の復旧・復興をご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。